

施策

1

未来をたくましく生きる力を育む教育の推進

魅力
現状
課題

- ① 高度情報化やAI^{※1}等による技術革新、価値観の多様化など予測困難なスピードで進展していく社会情勢の中、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力の調和のとれた「生きる力」を育むことが更に求められており、これまで、小中一貫教育^{※2}を最も重要な柱として取り組むことで、不登校や問題行動等の減少など、いわゆる中一ギャップ^{※3}の解消や学力向上、体力・運動能力等に一定の成果を上げてきました。

また、ふるさと・コミュニケーション科を中核としたふるさと教育やコミュニティ・スクール^{※4}、薩摩川内元気塾、英語力向上プラン事業の推進など地域に根ざした本市独自の魅力ある教育を実施しています。

- ② 引き続き、小中一貫教育を核として推進するとともに、新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業改善や指導力の向上、家庭学習の質の向上、ICT活用^{※5}など、学校と家庭が一体となった確かな学力の育成を推進していく必要があります。

また、心の教育の推進については、規範意識や倫理観の醸成、いじめのない学校づくりの取組、命の大切さを考える授業の充実、不登校や問題行動等への対応などを家庭や地域と連携して推進していく必要があります。

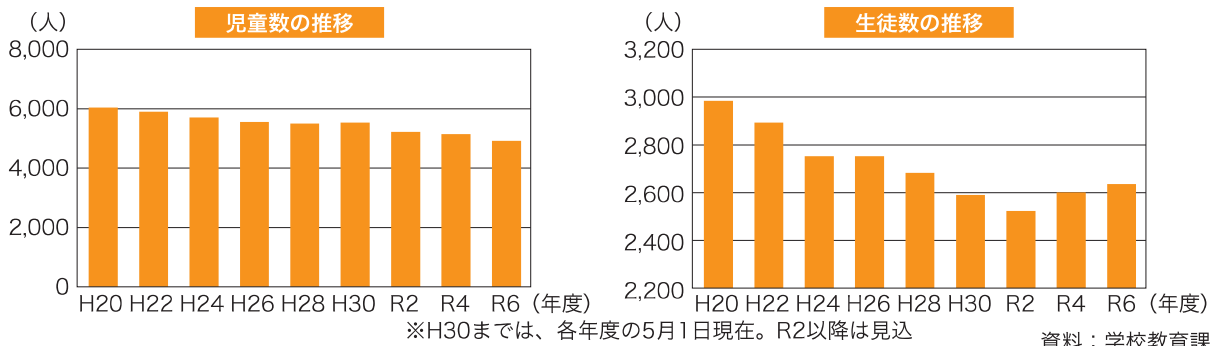
さらに、たくましい体の育成については、基本的な生活習慣の確立や一校一運動などによる体力・運動能力の向上、学校フッ化物洗口等による歯と口の健康づくりなどを家庭や地域と連携しながら推進していく必要があります。

- ③ また、近年、学校生活にゆとりを生み出し、教育の質を維持・向上させるため、学校における働き方改革、業務改善を着実に進めていくことが喫緊の課題となっています。

学校施設については、老朽化が進む施設について、「薩摩川内市学校施設長寿命化計画」に基づき、計画的な改修・改築を推進するとともに、教育内容に応じた設備等の充実を図っていく必要があります。

小・中学校の再編等については、「薩摩川内市立小・中学校の再編等に関する第2次基本方針」に基づき、保護者・地域の理解を得ながら再編を進め、また、平成31年4月に東郷学園義務教育学校が開校しました。今後も、児童生徒数の推移を見極めながら適切な学校再編について検討し、児童生徒が学び合い、磨き高め合う望ましい教育環境づくりに努めていく必要があります。

児童数・生徒数の推移



※1 AI：Artificial Intelligenceの略。人工知能（人間にしかできなかったような高度に知的な作業や判断を、コンピュータを中心とする人工的なシステムにより、行えるようにしたもの）

※2 小中一貫教育：小学校と中学校の義務教育9年間に連続性を持たせて行う教育のこと。

※3 中一ギャップ：小学校から中学校に進学したときに、学習内容や生活リズムの変化になじむことができず、いじめが増加したり不登校になったりする現象のこと。

※4 コミュニティ・スクール：学校と地域住民等が力を合わせて学校運営に取り組む「地域とともにある学校」のことであり、学校運営協議会制度を導入した学校のこと。

※5 ICT活用：パソコンや電子黒板等の情報通信技術を活用することにより、授業等の効率化を図ること。



ふるさと・コミュニケーション科において中学生が小学生に教えている交流活動



力強く綱を引いている小学校綱引競技大会



東郷学園義務教育学校



中学校の理科教員と小学校の担任による小学校での授業交流

めざす姿

充実した環境のもとで、知・徳・体の調和のとれた「未来をたくましく生きる力」が育まれている。

成果指標と目標値

成果指標	単位	現状値	目標値
①小6の中学校入学前の不安感	%	58.3 (H30)	40 (R6)
①～③中学生の不登校の出現率 (不登校生徒数/全生徒数)	%	1.35 (H30)	1.00 (R6)
①～③小2～中3の標準学力検査(NRT)の 偏差値平均結果(全国を50とした場合)	—	小学校50.6 中学校49.4 (H30)	小学校53 中学校52 (R6)
②小1～中3の体力・運動能力の平均 (全国を100とした場合)	—	97 (H30)	105 (R6)
②中1のDMFT指数 (未処置歯D・喪失歯M・処置歯Fの合計を被 験者数で割った一人当たりのDMFの本数)	本	1.25 (H30)	0.7 (R6)

施策の
方向性

① 小中一貫教育の充実(総合戦略)

- ◆ 中一ギャップの解消や学力向上等のために、小学校と中学校が相互に連携・補完し合いながら小中一貫教育を推進するとともに、ふるさと・コミュニケーション科を中核としたふるさと教育や地域との連携によるコミュニティ・スクールの充実に努めます。
- ◆ 9年間を見通した各教科のカリキュラムに基づく学力向上を図りながら、豊かな人間関係を築く力や自分の思いや考えを適切に表現する力を身に付けていくことを重点的に取り組みます。

② 知・徳・体の調和のとれた生きる力を育む教育の推進

- ◆ 基礎・基本と活用する力を育むために、自ら学び、磨き高め合う授業づくりに努めます。
- ◆ ICT活用や小学校からの英語教育の推進など時代の変化に対応した教育を推進します。
- ◆ 規範意識の醸成やいじめのない学校づくりに向けた取組、命の大切さ・いじめ問題を考える授業を充実を図ります。
- ◆ スクールソーシャルワーカー^{※6}や特別支援教育支援員の配置、適応指導教室等の相談体制の充実に取り組みます。
- ◆ 一校一運動に取り組むとともに、地域の特色や郷土の伝統を生かした体力・気力づくり、保健指導、食に関する指導、安全教育、防災教育の充実を図ります。
- ◆ むし歯予防の観点から、学校フッ化物洗口事業の充実を図ります。
- ◆ 幼・保・小連携を積極的に行い、小1プロブレム^{※7}の解消に努めます。
- ◆ 大学等の高等教育機関との協力による教育の充実を図ります。

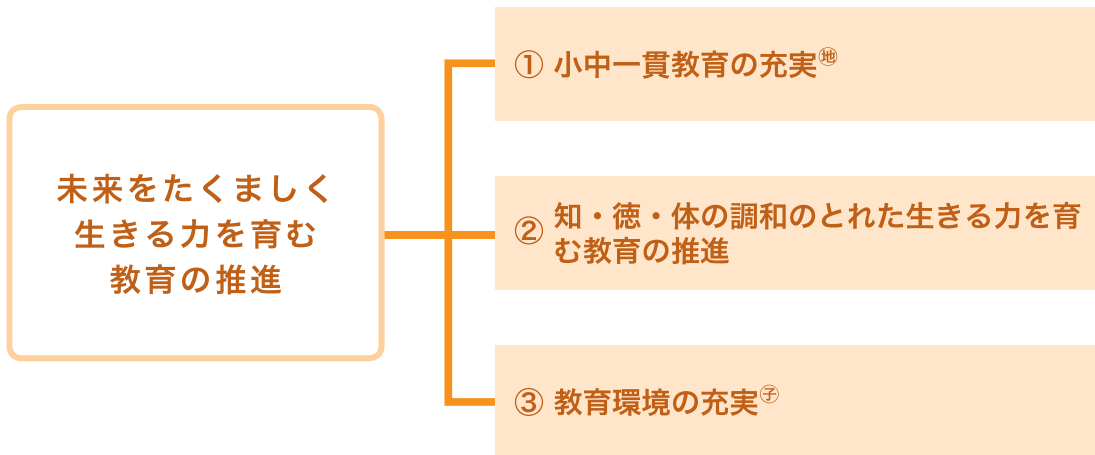
③ 教育環境の充実(総合戦略)

- ◆ 学校における業務改善を推進します。
- ◆ 安全・安心な教育環境を確保するため、施設の計画的な改修・改築を進めます。
- ◆ 教育内容に応じた教具・教材の整備やICT関連設備等の充実を図ります。
- ◆ 児童生徒にとって望ましい学校教育環境を整えるために、地域の実情や意見等を踏まえ、学校再編を更に進めます。
- ◆ 経済的理由により、就学困難な児童生徒の保護者に対して、学用品費・学校給食費等の援助を行います。
- ◆ 向上心が強く、学業が優秀であるにもかかわらず、経済的理由により修学が困難な者に対して給付型の特別奨学資金を支給することにより、有用な人材の育成を図ります。

※6 スクールソーシャルワーカー：子ども本人と向き合うだけでなく、家庭や行政、福祉関係施設など、外部機関と連携しながら、子どもを取り巻く環境を調整する役割の人のこと。

※7 小1プロブレム：小学校に入学したばかりの1年生が、集団行動がとれない・授業中に座ってられない・先生の話を受けないなど、学校生活になじめない状態が続くこと。

施策体系



※^地は総合戦略のうち、「地域づくり」分野のこと。
 ※^子は総合戦略のうち、「結婚・出産・子育て」分野のこと。

市民と行政の役割分担

市民	市 民	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 学校教育に対する認識や理解を深め、教育活動に協力しましょう。 ◆ 親子のふれあいを深め、家庭学習（10分×学年+30分以上）の充実や基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん、笑顔であいさつ・お手伝い）の確立に努め、家庭の教育力を高めましょう。
	地域・団体	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 学校教育に対する理解を深め、教育活動を支援しましょう。 ◆ 地域の自然や伝統、地域の良さを生かした行事や活動を行い、地域ぐるみで子どもを育てましょう。
	学 校	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 学校教育目標の具現化に向けて、教職員の指導力の向上を図り、信頼される学校づくりに取り組みましょう。 ◆ ふるさと教育を推進し、地域とともにある学校づくりに取り組みましょう。
行政		<ul style="list-style-type: none"> ◆ 小中一貫教育を柱とした教育施策を展開します。 ◆ 子どもたちや保護者等へのきめ細かな支援体制づくりに努めます。 ◆ 時代に適応した学校環境の整備に努めます。 ◆ 学校・家庭・地域、関係機関等を結ぶネットワークづくりに取り組みます。

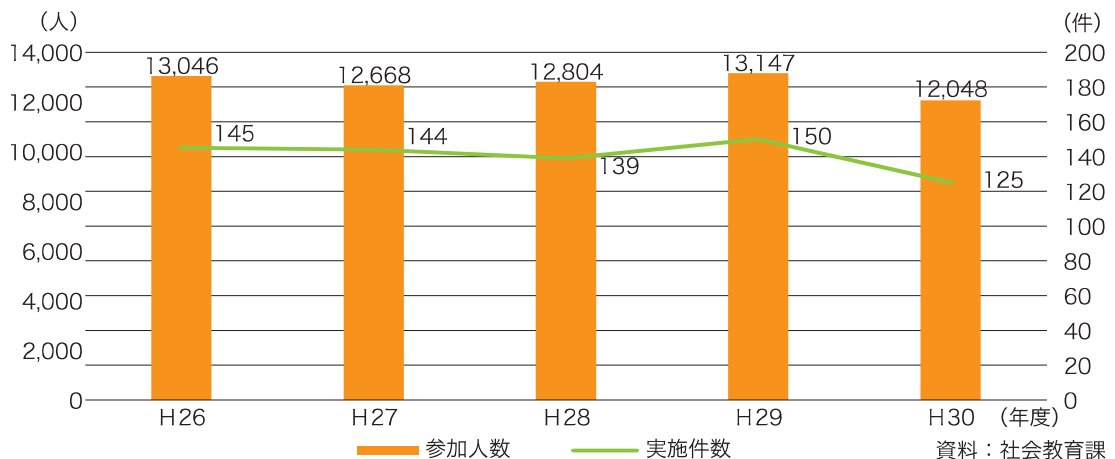
施策
2

地域全体で子どもを守り育てる環境整備

魅力
現状
課題

- ① 社会環境や家庭環境の複雑化に伴い、幼児や児童への虐待防止、規則正しい生活習慣やしつけの在り方、不登校、いじめ問題など子どもに関する様々な問題が全国的に顕在化してきたことに加え、今後は、SNS^{※1}が抱える課題や関わり方等についての問題に対応するために家庭教育の質的向上に大きな期待が寄せられていることから、家庭教育学級への活動支援など、更に積極的に取り組む必要があります。
- ② 非行の防止や不審者から青少年を守るため、市や地域において青色防犯パトロール車による防犯パトロール・街頭補導などを実施している中、依然として声かけ事案が発生するなど、今後も、地域ぐるみで青少年の健全育成を進める必要があります。
また、様々な技能・技術、専門的知識を持った地域の人材を活用した学校を支えるための学校支援ボランティア活動の充実を今後も推進するとともに、新たに地域と学校の双方向の連携・協働を図る「地域学校協働活動^{※2}」の充実を図る必要があります。
- ③ 少年自然の家は、隣接するせんだい宇宙館・寺山いこいの広場ともリンクし、市民の交流の場、憩いの場、研修の場となり、相互に連携を図りながら、本市の未来を担う青少年を育成する場となっています。
また、学校教育と連携して、家庭や学校では得がたい体験活動を子どもたちに提供し、健全な青少年を育成する役割を果たしています。具体的には、野外活動やリーダー育成など様々な体験活動や研修、集団宿泊学習の受入れなどを実施しており、今後更に、利用者のニーズに応じたプログラム開発や広報活動の充実、質の高い体験活動を提供するための専門性を有する指導者を養成する必要があります。
- ④ 青少年が抱える悩みを解消するため、少年愛護センターとして悩み相談に当たっている中、その他の相談窓口等も増えてきたことで、センターへの相談件数自体は減少しています。一方ではSNSでのいじめ等、内容が多様化・複雑化していることから、相談員の資質向上とともに、行政・地域・学校などの関係機関と総合的なネットワークを構築し、情報提供や連携協力を図りながら、引き続き青少年を見守る活動等を推進していく必要があります。

青少年（健全）育成会活動実績の推移



※1 SNS：Social Networking Serviceの略。インターネットを介して人間関係を構築できるスマートフォン・パソコン用のサービスの総称

※2 地域学校協働活動：地域の高齢者、保護者、PTA、NPO、民間企業等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指して地域と学校が相互に連携・協働して行う様々な活動



家庭教育学級研修会



青色防犯パトロール車による安全パトロール



地域で取り組む見守り活動

めざす姿

家庭・学校・地域が連携・協働し、次世代を担う青少年を守り育てている。

成果指標
と目標値

成果指標	単位	現状値	目標値
①家庭教育学級参加者数 学校で行う学習 市全体で行う学習	人	14,018 929 (H30)	15,000 1,000 (R6)
②防犯パトロール・街頭補導の延べ回数	回	10,000 (H30)	11,000 (R6)
③地域指導者養成事業、出張指導の参加者数	人	5,550 (H30)	5,800 (R6)
④地域の青少年（健全）育成会の活動回数、活動人数	回 人	125 12,048 (H30)	130 12,500 (R6)

施策 2

地域全体で子どもを守り育てる環境整備

施策の
方向性

① 家庭の教育力の向上

- ◆核家族化など社会環境の変化による家庭の教育力の低下を補えるよう、地域全体で家庭教育を支える支援体制を構築します。

② 地域の教育力の向上(総合戦略)

- ◆それぞれの地域での青少年育成会等の活動を今後も維持し、保護者、地域、学校ぐるみで、青少年を育てる環境づくりを進めます。
- ◆防犯パトロール・街頭補導や地域で実施される青少年育成活動事業の充実を図ります。
- ◆地域の人材を生かした学校支援ボランティア事業の充実を図ります。今後は地域と学校が双方向で連携・協働する「地域学校協働活動」の充実を推進します。
- ◆漁村留学制度により、全国から留学生を募集し、豊かな自然の中で、地域と留学生相互の教育効果の向上を図ります。

③ 指導者の指導力向上

- ◆県や関係機関や団体と連携した研修会、少年自然の家を活用した地域指導者養成講座の実施など、青少年育成指導者の研修機会の充実を図ります。
- ◆青少年育成の日のつどいや子ども会育成連絡協議会の内容充実、地区ごとの生涯学習推進大会等の活用など、青少年育成指導者の交流機会の拡充を図ります。

④ 総合的なネットワークの連携強化

- ◆青少年育成市民会議や少年愛護委員連絡会議、青少年問題協議会などを通じ、総合的なネットワークの構築による関係機関との連携を強化することで、地域社会全体で青少年の育成に取り組みます。

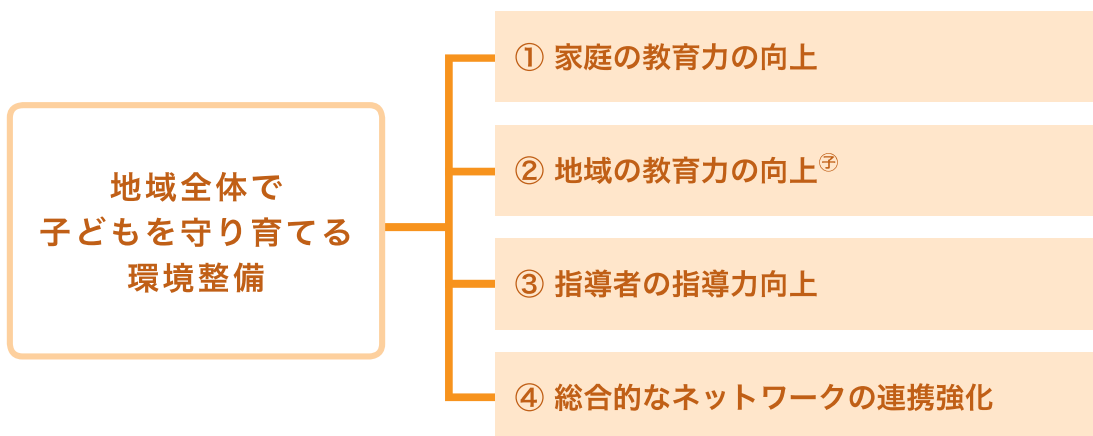


中央公民館 子育てサロン



少年自然の家 冬のアドベンチャー

施策体系



※⑦は総合戦略のうち、「結婚・出産・子育て」分野のこと。

市民と行政の役割分担

市民	市民	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 家庭で、子どもの生活や健康、学習習慣づくりに努めましょう。 ◆ 子育て力の向上に努めましょう。 ◆ 親子で地域活動に参加しましょう。 ◆ 自らの技能や知識、生涯学習の成果を生かして学校支援ボランティアに登録しましょう。
	事業者	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 家庭教育における保護者の役割や重要性を理解し、雇用環境の整備に努めましょう。 ◆ 市が実施する家庭教育支援施策に積極的に協力しましょう。 ◆ 補導活動^{※3}の推進に努めましょう。 ◆ 地域貢献の一貫として学校支援ボランティアなど地域の学校を支援する活動に参加しましょう。 ◆ 市民会議の活動方針に沿って、地域や行政と連携し、青少年の育成に努めましょう。
	地域・団体	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域の行事等を通して子どもの健全な育成を支援しましょう。 ◆ 世代間交流による地域での野外活動、スポーツ・文化活動などを通して、青少年健全育成活動の推進に努めましょう。 ◆ 補導活動の推進に努めましょう。 ◆ 地域全体で子どもたちを守り育てようとする気風を高めましょう。 ◆ 郷土の伝統芸能を積極的に子どもたちに伝承させるなど、地域の教育力の向上に努めましょう。 ◆ 市民会議の活動方針に沿って、事業所や行政と連携し、青少年の育成に努めましょう。
行政		<ul style="list-style-type: none"> ◆ 家庭教育についての情報の提供や技術的な助言など、必要な支援を行います。 ◆ 青少年の社会参加活動の推進、青少年育成団体の支援、青少年健全育成環境の整備に取り組みます。 ◆ 地域の人材（個人、団体、事業所等）を生かした学校支援ボランティア活動の充実とコミュニティ・スクール（学校運営協議会）を基盤とした「地域学校協働活動」の充実を推進します。 ◆ 青少年育成市民会議の活動方針に沿って、地域や事業所と連携し、青少年の育成に努めます。

※3 補導活動：非行の芽を摘み取り正しく導くことにより、青少年自らが自身を律し、自立した大人に成長することを目的とした活動のこと。

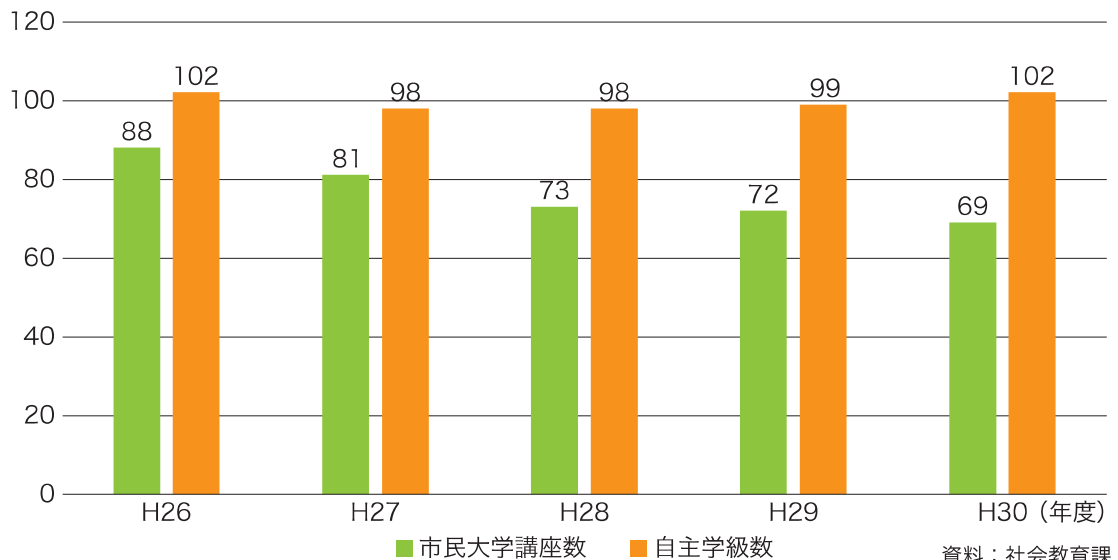
施策
3

学び活かす生涯学習と多文化共生の推進

魅力
現状
課題

- ① 誰もが生きがいを持って豊かな人生を送るため、「薩摩川内市生涯学習推進計画」に基づき、各種の事業を推進するとともに、生涯学習の成果を発表する場として生涯学習フェスティバルを開催しています。様々な生涯学習の機会を創出し、多様な要望に対応できるよう様々な講座・事業を推進し、人生100年時代の到来を見据え、誰もがいくつになっても学べる環境づくりが求められていますが、講座等の受講者は、高齢者が多い傾向にあり、ニーズに合わせた内容を検討するとともに、託児付きの講座を取り入れるなど若い世代が受講しやすい環境を更に整えていく必要があります。
- ② 学習ニーズのある人と、適切な講師を引き合わせるコーディネート機能を構築するとともに、社会教育団体や家庭教育学級の活動を促進するため、豊富な経験や専門的知識を有する指導者の人材バンク「すてきびと」登録を進め、その活動への支援を行う必要があります。
- ③ 中国江蘇省常熟市・韓国慶尚南道昌寧郡との友好都市交流に伴い、互恵関係の構築や相互理解の増進が図られています。また、国際交流協会を中心にした、外国語講座等を実施しており、今後、市民の国際理解、国際協力・多文化共生^{※1}の意識の更なる向上が求められています。

市民大学・自主学級開設状況



※1 多文化共生：国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。



生涯学習本部会議



常熟市国際友好都市文化観光フォーラム

めざす姿

いつでも・どこでも学ぶ機会が提供され、
 日常生活で生きがいや充実感を感じており、
 併せて、国際理解が進んでいる。

成果指標
と目標値

成果指標	単位	現状値	目標値
①市民大学講座参加者数	人	4,830 (H30)	5,000 (R6)
②すてきびと登録者数	人	60 (H30)	70 (R6)
③友好都市交流事業・国際理解事業の参加者数	人	3,802 (H30)	4,000 (R6)

施策 3

学び活かす生涯学習と多文化共生の推進

施策の
方向性

① 生涯学習の展開とネットワーク化(総合戦略)

- ◆地域全体で生涯学習を進めるための環境整備と生涯学習成果の活用を促進します。
- ◆市民への生涯学習情報の提供及び学習相談体制の充実を図ります。
- ◆中央公民館及び地域公民館を拠点として、地区コミュニティセンターとのネットワーク化を進め、地域での生涯学習活動の更なる充実を図ります。
- ◆中央図書館及び各地域の図書館分館の図書資料等の充実を図ります。

② 生涯学習を進めるコーディネート機能の充実(総合戦略)

- ◆人材バンク「すてきびと」への登録を促進し、普及・活用を推進します。
- ◆社会教育団体等から指導者養成研修会への参加を拡充し、専門的知識を有する指導者の育成とその活動支援の充実を図ります。

③ 多文化共生の推進

- ◆友好都市交流や市民、国際交流団体による幅広い国際交流活動を促進し、市民の国際理解を深め国際協力意識の高揚を図ります。
- ◆国際化へ対応するため、国際交流活動を通じ、多文化共生の醸成を図ります。



市民大学講座



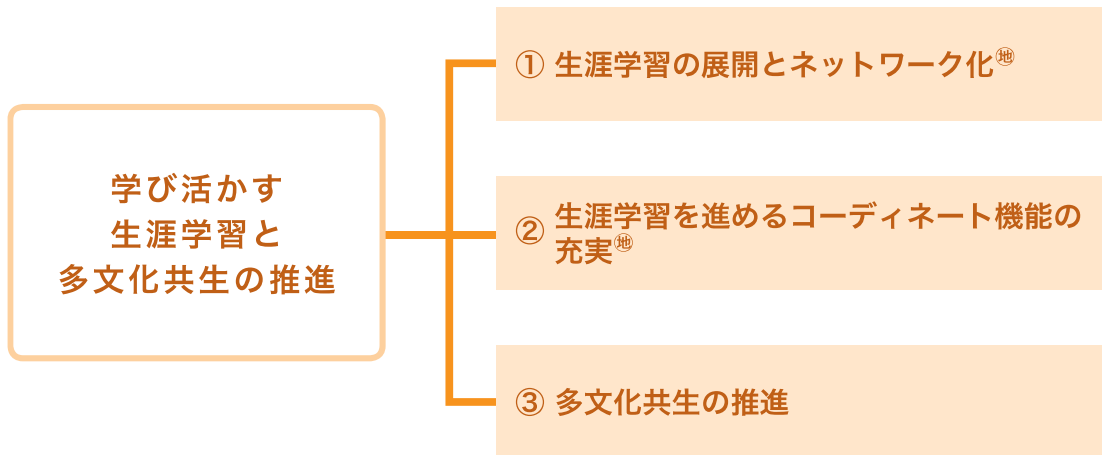
自主学級の成果発表



生涯学習フェスティバル



施策体系



※④は総合戦略のうち、「地域づくり」分野のこと。

市民と行政の役割分担

市民	市民	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域づくり活動へ積極的に参加し、習得した知識や技術を人材バンク等に登録しながら、地域社会へ還元しましょう。 ◆ 身近な公民館や図書館を積極的に活用しましょう。 ◆ 国際理解を深め、交流を進めましょう。
	事業者	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 国際理解を深めましょう。
	地域・団体	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地区コミュニティセンターを活用した生涯学習活動を地域住民が主体となって進めましょう。 ◆ 国際理解を深めるため、交流会や各種講座の開催に取り組みましょう。
行政		<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域の人的・物的資源の発掘と連携、保存と活用に努めます。 ◆ 国際理解を深めるため、薩摩川内市国際交流協会と連携し、関係団体の育成、友好都市交流、多文化共生の普及推進を図ります。

施策
 4

誇りと愛着のある地域文化の保存・継承・活用

 魅力
 現状
 課題

- ① 本市には国指定史跡の「薩摩国分寺跡」、「清色城跡」や国選定伝統的建造物群保存地区「入来麓伝統的建造物群保存地区」、国指定有形文化財「旧増田家住宅」、国指定無形民俗文化財「東郷文弥節人形浄瑠璃」、ユネスコ無形文化遺産「来訪神：仮面・仮装の神々」として拡張登録された「甌島のトシドン」、県指定史跡「天辰寺前古墳」を始めとした地域の風土が培った多種多様な文化財が有形・無形ともに多数残されています。

平成31年3月には「川内大綱引」が記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財「薩摩川内の大綱引き」として国の選択を受け、また、入来麓、里麓、手打麓などを含む県内の武家屋敷群『麓』のストーリーが、日本遺産に認定されました。

甌島は、国定公園に指定されており、「甌島長目の浜及び潟湖群の植物群落」が国天然記念物に、鹿島断崖の一部が「下甌島夜萩円山断崖の白亜系姫浦層群」として県天然記念物に指定されました。

平成20年度以降、化石発掘調査によって、獣脚類などの恐竜化石が相次いで発見され、「恐竜の島」としても全国から注目を集めています。

また、「甌島ツーリズムビジョン」を作成し、観光を主軸とした地域振興を掲げ、平成27年度に開設した「甌ミュージアム恐竜化石等準備室」を自然史系博物館施設として整備を進め、観光拠点施設の役割も担いながら貴重な恐竜化石が発見された島としての普及・啓発に努めています。

こうした歴史・文化といった、かけがえのない財産の保存・継承に対する市民の理解を深め、意識を高める必要があります。

少子高齢化が進む中、貴重な文化財や伝統芸能等を保存継承し、次の世代へ伝承していくためには、担い手の育成・確保が大きな課題になってきています。

- ② 文化活動においては、文化協会を始めとする多くの芸術文化団体がそれぞれの活動を行っており、市芸能祭や薩摩国分寺秋の夕べ等においても、芸術活動を展開し、文化的行事やイベントの開催を通して、音楽や芸術などに触れ・参加する機会を増やし、市民誰もが芸術・文化活動を楽しめる環境の更なる整備が求められています。

川内歴史資料館、川内まごころ文学館、各郷土館、入来麓旧増田家住宅などの施設については、歴史等の学習拠点として位置付け、その積極的な利活用を促進する必要があります。



入来麓旧増田家住宅



甕ミュージアム恐竜化石等準備室



めざす姿

地域の文化を身近に感じ、
日頃から芸術文化に触れ親しんでいる。

成果指標
と目標値

成果指標	単位	現状値	目標値
①国・県・市指定文化財件数	件	196 (H30)	200 (R6)
①甕ミュージアム恐竜化石等準備室の入館者数	人	3,268 (H30)	5,000 (R6)
②川内歴史資料館、川内まごころ文学館、入来麓旧増田家住宅の入館者数	人	28,133 (H30)	30,000 (R6)

施策 4

誇りと愛着のある地域文化の保存・継承・活用

施策の
方向性

① 文化財等の保存・継承・活用

- ◆ 伝統芸能・行事、文化財等を生かしたまちづくりを振興するほか、地域文化の情報発信を促進します。
- ◆ 指定文化財等の保存・活用を図るため、その文化的価値を広く一般市民に周知するとともに、将来に確実に継承され、保存会だけでなく地域総がかりでまちづくりに生かしながら継承に取り組んでいけるよう、支援体制の構築を図ります。
- ◆ 甕島で発見された恐竜化石については、自然史系博物館施設を整備し、地域特有の自然環境の保全に努めるとともに、「甕島ツーリズムビジョン」と連携した観光資源としての活用を図ります。

② 文化活動の推進

- ◆ 郷土芸能や文化協会を始めとする各団体で実施されている文化・芸術活動を発表する機会を提供し、併せて多くの市民が触れることができるよう、周知・広報を充実します。また、郷土芸能を始めとする地域の芸術文化活動を継承する、保存団体の活動や後継者の育成を支援します。
- ◆ 川内歴史資料館、川内まごころ文学館、各郷土館、入来麓旧増田家住宅、甕ミュージアム恐竜化石等準備室などの施設については、魅力ある展示並びに企画展の充実や関連イベント等との連携により、幅広い世代の利活用を推進します。



川内大綱引

施策体系

誇りと愛着のある
地域文化の
保存・継承・活用

① 文化財等の保存・継承・活用

② 文化活動の推進

市民と行政の
役割分担

市民

- 市民
- ◆ 文化芸術の担い手として積極的な文化芸術の理解、参加、創造に努めましょう。
 - ◆ 伝統行事や文化財保護活動へ積極的に参加しましょう。

- 事業者
- ◆ 文化芸術の振興と発展、ボランティア団体の支援の推進に努めましょう。
 - ◆ 文化財保護活動への参加と支援に努めましょう。

- 地域・団体
- ◆ 地域の文化芸術活動の理解、活用に努めましょう。
 - ◆ 伝統行事に参加しやすい環境づくりに取り組みましょう。

行政

- ◆ 文化芸術を創造、享受できる環境の整備に努めます。
- ◆ 個性と魅力にあふれた文化芸術の振興に取り組みます。
- ◆ 文化財少年団活動や出前講座等を通じて、ボランティア団体の文化財保護活動等を支援します。
- ◆ 川内歴史資料館、川内まごころ文学館、各郷土館、入来麓旧増田家住宅、甕ミュージアム恐竜化石等準備室などの施設を学習拠点とし、幅広い世代の利活用を支援します。

施策
5
スポーツ活動を楽しむ環境整備

 魅力
 現状
 課題

- ① 市民誰もがスポーツを通じて健康を維持し、交流の輪を広げ、健やかで豊かに暮らせるよう、総合運動公園を始め、多くのスポーツ施設が整備されています。
 高齢化が進む中で健康寿命を延ばすためには、各種健康スポーツ教室の開催などを通じて、スポーツに慣れ親しみ、身近にスポーツを楽しむ生涯スポーツを更に推進していく必要があります。
- ② 人口減少等により、薩摩川内市体育協会加盟団体数、薩摩川内市スポーツ少年団登録団数等は減少傾向にありますが、第75回国民体育大会鹿児島大会や東京オリンピック・パラリンピックが開催されることから、高いレベルのスポーツを観戦する機会を増やし、スポーツへの関心を高めることや競技力の向上などを図っていく必要があります。
- ③ 日本オリンピック委員会からバレーボール競技強化センターとして認定されたサンアリーナせんだい等のスポーツ施設、本市の競技団体や官民の宿泊施設の合宿受入時のおもてなしは、合宿先としての評価が高く、全日本バレーボールチームを始め、トッププロチームや実業団チーム等によるスポーツ合宿が増加しています。今後は、スポーツ合宿による宿泊者を更に増加させ、市民の生涯スポーツ、競技スポーツ並びに地域経済への波及効果を引き出す必要があります。



健康スポーツ教室



川内川河口マラソン・ウォーキング大会



バレーボール男子日本代表国際親善試合



総合運動公園スポーツ施設

めざす姿

市民が気軽にスポーツに親しむ環境が整い、日常的にスポーツを楽しんでいる。

成果指標
と目標値

成果指標	単位	現状値	目標値
①各種スポーツ教室の参加者数	人	1,567 (H30)	1,700 (R6)
②九州大会・全国大会等への出場件数	件	167 (H30)	180 (R6)
③スポーツ合宿団体数	団体	78 (H30)	100 (R6)

施策 5

スポーツ活動を楽しむ環境整備

施策の
方向性

① 生涯スポーツの推進(総合戦略)

- ◆健康の維持増進や体力づくりを目的に、市民がいつでも・どこでも・だれでも気軽にスポーツを楽しむことができるよう、各種健康スポーツ教室の開催や地域スポーツクラブの育成などに取り組みます。
- ◆地区コミュニティ協議会やスポーツ推進委員と連携し、地域のスポーツ・レクリエーション活動などの環境づくりを促進します。

② 競技スポーツの振興

- ◆競技人口の底辺拡大と競技力の向上を図るため、薩摩川内市体育協会などの関係団体と連携して、指導者の育成と指導体制の充実に努めます。
- ◆第75回国民体育大会鹿児島大会や東京オリンピック事前キャンプ等を契機に、更にスポーツ競技者の人口の拡大や競技力の向上に努めることにより競技スポーツの振興を図ります。

③ スポーツ振興による地域の活性化(総合戦略)

- ◆スポーツ合宿誘致やスポーツイベントの開催等を通して、交流人口の拡大による地域の活性化を図ります。



デンソー女子陸上長距離部合宿

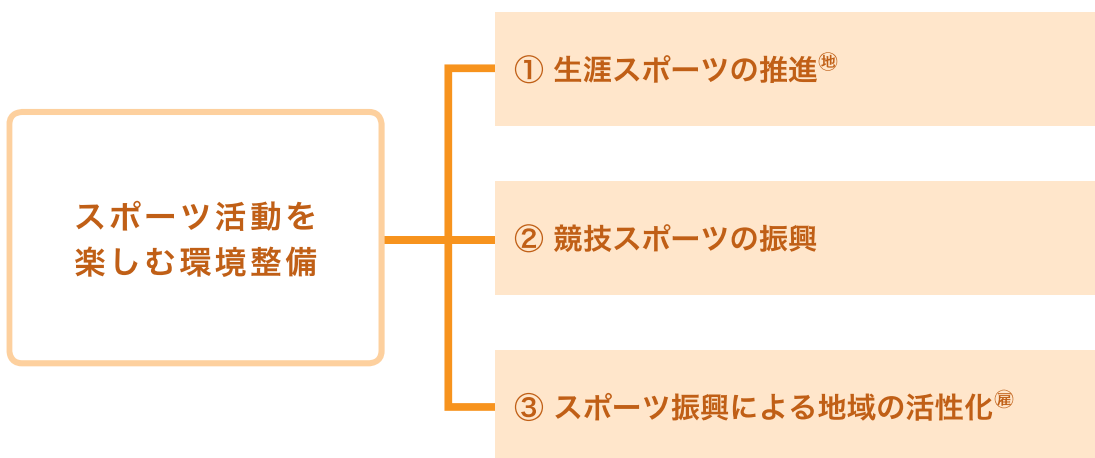


コカ・コーラレッドスパークスホッケー教室



スポーツフェスタin薩摩川内グラウンド・ゴルフ大会

施策体系



※^地は総合戦略のうち、「地域づくり」分野のこと。
 ※^雇は総合戦略のうち、「雇用」分野のこと。

市民と行政の役割分担

市民	市民	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 主体的・継続的にスポーツ活動へ参加しましょう。 ◆ スポーツサークル等への積極的な参加や、定期的な運動の機会を作りましょう。
	事業者	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 民間スポーツクラブのノウハウを生かして、地域に根ざしたスポーツ活動を促進しましょう。 ◆ 専門家等による地域へのスポーツ指導、交流、競技力の向上、指導者及び競技者の養成に取り組みましょう。
	地域・団体	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域における指導者の育成に取り組みましょう。 ◆ スポーツ活動の充実、スポーツ大会等の開催に積極的に取り組みましょう。 ◆ 地域スポーツの振興と団体相互間の交流活動を推進しましょう。
行政		<ul style="list-style-type: none"> ◆ 市民のスポーツ活動への参加を促進するとともに、各種スポーツ活動の場を提供します。 ◆ 安全で安心なスポーツ施設の整備、競技スポーツの振興、指導者養成の支援を推進します。 ◆ スポーツ基本法に基づく、「薩摩川内市スポーツ推進計画」を策定し、本市の実情に即したスポーツ環境づくりを推進します。